

KBS京都 × 叢書CF
メディアMIX
コラボレート企画

谷口夜口
Taniyori's Night

誌上

KBS京都 毎週土曜日
夜11時30分 絶賛放映中

夏休みだよ全員集合！谷口キヨコです！やってきました2006年サマー！今年の夏は一度つきり。だから色々なことに挑戦だ！仕事に勉強に恋に、みんなガンバレー。でも土曜の夜は「谷口夜口」を忘れては！お盆は親戚一同と、旅行先では友達と。そして一人寂しい夜にどうぞ！みんなに「谷口夜口」の和を広めよう！金太郎師匠も、「谷口夜口浸透キャンペーン」ヨロシク！



谷口キヨコ



金太郎

こんばんは、夏は苦手の金太郎です。谷口、番組の宣伝はいいけどちょっと強引すぎぞ、お盆に親戚一同で観られるのはこぼすしかないな。イヤ、カッパルでイチャつきながら、バカにされつつ観られるよりはマシか。まあ、みなさん誰とどんな所においてもいいんで「谷口夜口」観てニヤー。これでもいいか？谷口！

ディープでセレクトな京都の情報番組
こんなん放送してます！

ミニチュアに愛を込めて...

京都にある「さんけい」は博物館に飾るミニチュアなどの模型を作る会社である。ここで驚くのはその精密さ。ミニチュアをつくるのに、まず図面をひくことから始まる。五重の塔の制作には本物と同じ木の素材を使用し、同じパーツを作っていく。パーツ数、何と5万個！そして1ミリの狂いも許されない世界なのである。制作には何と2年もかかるのだ。写真を見て胸がアツくなる男性諸君、ここでは見学もできるで、是非行ってみたいよ！



日曜日のダンサー

毎週日曜になると現れる黒い集団、彼らはロックロールを楽しむが大好きで集まってくる。かつて原宿のホコ天を賑わせたローラー族のメンバーに加え、新たに加わった20代前半の若者の姿も見える。さらに女性メンバーも、母子共に踊ることがあるのだ。革ジャンにリゼンセント、皮バンでツイストを刻む姿はかかなり男前。興味がある人は日曜に京都市役所前に行け！



魅惑のふんどし

福知山市で一風変わったふんどしが作られていると聞き、やってきたのはmaff工房。ここでは、何と女性専用ふんどしを手掛けているのだ。そのデザインはかかなり斬新で、見てもオチャレなものばかり。実は、京都造形芸術大学の学生がデザインを手掛けているのだ。学生とmaff工房のスタッフが月に一度会議を開き、新しいふんどしの提案を行っている。今年の夏はふんどしでオシャレに決めてみよう！



番組のHPへアクセスしてご意見、ご感想、応援メッセージなど、どんどんメールしてください！

パソコン <http://www.kbs-kyoto.co.jp/taniyori/>
ケータイ <http://www.kbs-kyoto.co.jp/taniyori/mobile/>



ニットアーティスト

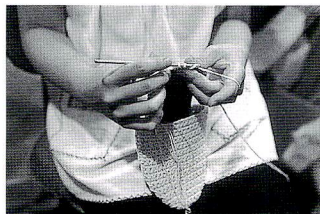
笹谷史子

SASATANI AYAKO

【プロフィール】1981年、向日市生まれ。高校時代から独学で作品づくりに励み、KCS（講談社が主宰する編物協会）指導講師の故・長谷川温子先生に師事。2005年、洋服の山田寛文氏とブランド「dejeuner」設立。2006年、独自のニットブランド「Taticot」を立ち上げる

京TIAN I.D.
キョーティアンアイディ
The 133th person

羊に魅せられて糸まで紡ぐ
柔軟さが原動力の源となる



ルームシューズは形をしっかりさせるために、風糸を使ってきつめに編んでいく。それぞれに合った素材を優先し、「適していること、適していないことはある」ため、「絶対にニットではないとアカン、とは思わない」とのこと



身内でバカ受け（史子さん談）だった「究極のあったかニット帽」は、すごく太めに紡いだ糸でキツキツに編んであるため、通気性はいいが驚くほど暖かい。「自転車で乗る人にはオススメです」



この夏より恵文社へ出品しているルームシューズと鍋敷き。鍋敷きは片面がフェルト状になっている。自分で糸を紡くようになってからフェルト生地をつくることも増えたとか。もう片方はシューズと同じ素材で編まれている

information

- 恵文社一乗寺にて、商品を購入可能。
- 秋より知恩寺の手作り市に出店予定。
- 新情報は随時HPにてお知らせ。
- ニット教室開催中！
- 日時：毎週日月火/9:30~11:00（要予約）
- 場所：カフェLucca（新京極六角東入南側）
- 受講料：1回2000円（回数制）